

令和3年度 第1回 美濃加茂市地域公共交通活性化協議会

議事録

日 時：令和3年6月18日（金） 14時01分～15時18分

場 所：美濃加茂市役所3階第一議会委員会室

出席委員：14名

1 開 会（14：01）

（事務局 久保田）

2 会長挨拶

（市長）みなさんこんにちは。令和3年度第1回ですね、美濃加茂市地域公共交通活性化協議会、大変みなさん、コロナ禍の緊張する中、あるいはお忙しい中、ご参加いただきまして心からお礼申し上げたいと思います。また、今、辞令を交付させていただきました。本当に皆さん方と一緒にですね、素晴らしい街を作っていきたいと思いますので、今後ともご支援賜りますよう重ねてお願いいたします。着座にて失礼します。

松本先生もいつもお世話になっております。今後ともお世話になります。コロナの状況でですね、皆様方、少し話が違うんじゃないかと言われるかもしれませんが、蔓延防止が岐阜県解除されるようでございますけれども、まだまだそういう状況、私の中ではですね全く変わっていない。緊張する状態の中ですね、しっかりさらに対策を練っていかないとやはり第5波というものが恐れられる。やはりそういったことがないように全力を上げて感染防止に取り組んでいきたいと考えております。そういう中でもですね、このあい愛バスの要求、こういったものに対する期待というものは私個人的には、感覚的なものですが、非常に大きくなってきているような気がします。「あそこに行ってみよう。」「みんなと一緒になんかやりたい。」そういう思いを叶えるためにですね、これから、この公共交通の持つ意味というのは新しい価値を生むという点でもこのコロナの次がですね、さらにその要求度が高まって、このあい愛バス、さらにさらにですね、皆さんに愛されるものにしていかなければいけないということを感じております。是非皆さん方ですね、足となり手となってですね、このあい愛バスを愛されるようなものにこれからしっかりやって参りたい。実は前にですね、あまり遠くから見えないですが、内閣総理大臣の菅様から先日。皆さんSDGsという言葉をお聞きになったことがあるかもしれませんね。世界中の国がですね、貧困であるとか戦争であるとか差別であるとか、みんなが幸せになるような世界を作ろうということで、17の目標を持った、その総称というか、それがローマ字のSとDとGとちっちゃいsとエスディー・ジーズと呼ばれております。それを日本のですね、いろんな市町村で市民をあげて取り組んでいこうと一生懸命やるところを内閣総理大臣が指定をして「いっしょにやるぞ」と指定を受けているんですね。実は今年も約150自治体程が、「やります」って言って、未来都市の申請をされまして、そのうちから、31都市が選ばれました。その1つに、我が美濃加茂市がなると。なかなか厳しい審査があ

りましてね、ただ SDGs っていうのは、本当に大変なことがいっぱいあるんですけど、私どもの考え方としてはですね、今日実は小道具を持ってきて、(パネルを見せながら)これが、エス、ディー、ジー、ズと。私英語が得意なんで、英語で言わせていただきますけど、これが、サステイナブル、ずっと続くという意味らしいです。ディーっていうのは、ディベロップメント、開発とか成長とかそういう意味で、ジーって目標、ゴールですね。サッカーゴールのゴール。で、たくさんあるのでエスがつく。エスディージーズっていうんですね。サステイナブルディベロップメントゴールズなんていっても何のこっちゃ分からへんものですから、私たちが実はさっきの内閣府の審査を受けるときに、これを使わせてもらったんですが、Sは「すべての」、Dは「土台」、私らの足元、いろんな組織です、Gは「元気に」、そして、小さいsは「する」と

「すべての土台を元気にする」のが SDGs だと。そういう説明で何とか 31 に選ばれてきたと。つまり今申し上げるのは、公共交通もいわゆる皆さん方の土台なんですね。地域の発展とは、経済活動、あるいはですね、ほんとに、「あそこに行ってみたい」、先ほども申し上げましたが、そういう方たちの夢を叶えるという点では、非常に重要な、SDGs の要素なんですね。公共交通っていうのは、本当大事だ、そういった意味で SDGs 未来都市に選ばれたっていうのは、ますます私どもの責任が出てきたということです。もう 1 つ、これも自慢話になってしまいますが、その中から、今年内閣府としてですね、補助金、まあ色んな SDGs を進めるにあたって、これならいいんじゃないの、こういうことなら、国の補助金を出してもいいっていう団体が、10 都市選ばれて、それにも美濃加茂市は選ばれました。150 の中から 10 に選ばれたというのは本当に光栄ですし、職員も一生懸命頑張ってますし、これは経済団体、特に商工会議所とかですね、医師会とか、様々な方たちと連携をする中で、協議会を立ち上げておりますけど、そういう方たちと一緒にやろうっていう意志が、気持ちが伝わったということです。その中に先ほどから申し上げているように、公共交通、このあい愛バスっていうのは非常に重要な要素でございますので、SDGs がどうかじゃなくてですね、やっていかなかんという大前提がありますけども、さらに拍車をかけて、私どもとしては一生懸命やっていきたいと、いうふうに考えております。そういうことで、皆さん方に、是非 SDGs の考え方も含めまして、あい愛バスに色んなご提供をいただいて、来年度以降もですね、しっかりやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。それからもう 1 点だけ、すみません、話が長くなっちゃって、先ほどコロナの話を少しさせていただきました、皆さん方も順番にですね、65 歳以上の方を優先順位でやりますけども、いよいよその中で、若い方も含めて、12 歳以上の方全員にですね、ワクチンを打っていきこうと。国や県が本当に頑張ってくれまして、色々なワクチンがしっかり来ております。その中で、優先順位を決めていきこうと、いうことになりまして、体に基礎疾患のある方とかですね、病院の看護師さん、ドクターであるとか、あるいは学校の先生、保健師、それから保育士さん、こういう方たちを優先に、今準備を進めております。その中に、公共交通のドライバーの方、これをですね、是非、私どもとしても、ワクチンの優先の方に、上げさせていただきたいということを考えておりまして、ただ私どもでできるのは、美濃加茂市民しかできないんですよ。本当にこれは申し訳ないんですけど、ドライバーの方には美濃加茂市民の方を洗い出させていただいて、これは新太田さんの方から出していただいておりますのかな、出していただいて、優先順位の中に含

めさせていただいて、ワクチンの接種を先行していただきたいと。こんなことを打合せしております。いずれにしても今日お見えになる方たちは本当に重要な方ばかりですので、1日も早くワクチンがうてるように、努力をして参りたいと思いますが。警察官もうってるんですね？今。(加茂警察署藤田氏：まだうっていません。)はよ、うってもらわなかんね。そんなことも含めまして、がんばってワクチン推進室もやっておりますので、まだかという思いはお持ちだと思いますけども、一生懸命頑張りますし、また、ご支援いただきたいと。そんなことで、公共交通色々また頑張っていきますので、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げまして、大変長くなりまして、申し訳ありませんが、あいさつといたします。よろしく申し上げます。

(市長会議のために退席)

3 議 題

(座長 松本) ここから私の方で進行を務めさせていただきたいと思います。会長が残念ながら不在ではございますが、会長には事前に見ていただいているということで、了承をいただいているということで進めさせていただきたいと思います。それではお手元の次第に従いまして、進めさせていただきます。

- ・議第1号 令和2年度事業報告(事務局から説明)
- ・議第2号 令和2年度歳入歳出決算
(事務局から説明・藤井委員から監査報告)

(座長 松本) 最近では市長さんの話にもありましたけれども、美濃加茂市さんは国からも表彰続きということで、去年は国土交通大臣からも表彰ということもありました。特にこのあい愛バスの取組みに関しましては、美濃加茂市はご担当の方はもちろんですが、ここにお集まりの皆さんのご協力の上での結果だというふうに思っております。昨年度は今も続いておりますが、コロナという状況で、なかなかですね、いろんな活動ができない中で、本当にですね、色々工夫しながらこのような、活動をいただいて、そして、美濃加茂市の方々に利用いただいたということかなと思っております。

⇒議第1号、議第2号共に、質問なく、協議が調う。

- ・議第3号 令和3年度事業計画(案)(事務局から説明)
- ・議第4号 令和3年度歳入歳出予算(案)(事務局から説明)

(座長 松本) 今年度こういう状況でございますので、やれる範囲でということではございますが、その中でも色々と考えていただいているというふうに思っておりますが、さらにこういうことをやった方がいいんじゃないかとか、これは逆にやめた方がいいんじゃないかとか何かございましたら、何なりとご意見いただければと思いますが。

(健寿連合会 藤井) 中部国際医療センターのオープンはいつですか？

(事務局) あくまで予定ですが、令和4年1月です。

(座長 松本) 病院ってニーズがありまして、皆さん、病院に行きたい行きたいということですが、病院ばかりに行ってもらうのも、それはそれで、必ずしも喜ばしいことではなくて、本当は病院に行かずにほかのところに行って元気に過ごしてもらうのが一番いいということです。ただ、いざとなったら病院にも行けるというのが大事かなと思っております。ですから利用促進でよく、病院に行けるように利用促進っていうのを考えられることがあるんですが、いやいやそれは違うよねと。病院にわざわざ行くために利用促進しないで、病院に行かない利用促進をするということの方がいいんですけど。ただ、安心していける環境は大事かなと思っております。是非、またできたときには見直しを進めていただければと思います。

先ほど SDGs で「すべての土台を元気にする」。そういう意味ではあい愛バスは間違いなく「土台」ですよ。土台の1つだと思っております。そしてその土台を元気にするというので、今年度も引き続き、利用促進活動、様々な活動を考えていただいていると。また、利便性向上ということで、見直し等も考えていただいているということでございます。是非、皆様方のご協力もお願いしながら進めていくということになります。

⇒議第3号、議題4号共に協議が調う。

- ・議第5号 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）
（事務局から説明）

(座長 松本) 国に申請する計画ということでございます。目標を立てて、それに対して何を行うか。そして今年度は特に車両をですね、追加購入するというので補助申請をしましょうということでございます。ご質問ご意見等ございましたら、いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。特に目標がですね、コロナ前の数値に基づいた目標を今掲げております。この先が不透明な状況ではございますが、やはり目標は目標、あくまでも目標でそこを目指そうと。そしてその目標を目指すために、ここに書いていただいているようにたくさんのお取り組みを行っていく。ただ現状はですね、現実的にはひよっとすると状況によってはこのうちのいくつかはやれない可能性がありますし、あるいは公共施設の休館等によって乗っていただけないこともありうる。そういうのはあるんですが、あくまでも我々の取り組む方向としてはコロナ前を目指すあるいはそれ以上を目指そうという姿勢でございます。

(岐阜運輸支局宮川) 目標値につきまして、昨年度の実績を見てますと、コロナ禍でありながら割と高い数字を示していらっしゃいますので、その点でどうしてこれだけ高い数字が維持できたのか考えながらですね、高い数字があるってことは必要とされているということだと思いますし、美濃加茂市さんはじめ皆様方の頑張りがあったということだと思うんですけど、何が効果を上げたのかというところを考えながら実際にやるところについても注力していただければより効果はあるかなと思います。

⇒協議が調う。

4 報告事項

- ・報告事項1 川辺町の福祉バスの乗り入れについて
(報告事項1は川辺町健康福祉課職員から説明)

(座長 松本) ちなみに無料でよかったですね？

(川辺町) 無料です。

(座長 松本) ちなみ美濃加茂の市民は乗れなかったんですよね？

(川辺町) 乗れますので、どうぞご利用ください。

(座長 松本) 美濃加茂の市民の方々も自由に乗り降りできると。そうすると川辺町にある場所にもいくことができるわけですね。それはいいですね。ちなみに今はこの川辺町のバスの路線図と違って美濃加茂市に置いてあるんですか？

(川辺町) 美濃加茂市には置いてないかと思います。川辺町のホームページを見ていただければ路線図は載っているんですけども。

(座長 松本) ちなみにあい愛バスの路線図は川辺町に置いてあるんですか？

(事務局) 置いていません。

(座長 松本) せっかくなんで、川辺町からこっちに来られてあい愛バスに乗られる方、あるいは長良川鉄道に乗られる方もいる。それから市民の方々が川辺町にも行けるということなので、お互いやっぱりそこは情報を出し合うといいなと思いますので。例えば駅とやすらぎの家くらいには何部かのあい愛バスの時刻表を置いていただいて、市役所にも川辺町さんの路線図をご提供いただいて、置かせていただくといいかなと思います。お互いが自由に使える環境を整えていただくといいかなと思います。

- ・報告事項2 安全性確保対策が必要としたバス停留所について

- ・報告事項3 あい愛バスの利用状況について
(報告事項2、3は事務局から説明)

(座長 松本) ご質問ご意見等がございましたお願いします。

(岐阜運輸支局宮川) バス停の関係を少しだけ補足させていただきます。一応AランクからCランクまでございますけども、必ずしも事故に直結するというわけではございません。「危険なバス停」という言い方が独り歩きしているところがございますが、この類別はあくまで類別フォーマットに則って機械的に類別をしたものでございますので、ご利用にあたって、ここが危険だからここを下げようとかそういうことは基本的に必要ないのかなと思います。ただ、見通しが悪いとか危険性が考えられることは間違いないものですから国土交通省支局

といたしましても、協力しながらできるだけ削減したいと思っておりますので、皆様方のご協力をお願いします。

(岐阜県吉田) あい愛バスの利用者の利用属性みたいなものがあれば教えていただけますでしょうか。

(事務局) 利用属性につきましては、運転手の方に目視でカウントいただいている関係で、基本的には現金であるのか、回数券であるのか、定期券であるのか、そういう区分でしか調査ができておりません。実際の年齢層とか性別とかそういった情報は取得しておりません。運転手さんの情報やご利用者さんのお話等の中から、朝の1便につきましては、まず高校生が非常に利用している。次の2便につきましては、買い物もしくは病院等外出される方、そういった方を中心に1便2便の利用が高くなっている傾向がございます。高校生の通学利用、たまに通勤利用で定期を買われる方もおみえになりますし、そういうところがまず1便目の属性としてはあるのかなと考えております。2便目以降は、買い物等でご利用される手段として使ってみえるという属性として今把握しているところでございます。

(座長 松本) 結構高校生が使っているんですね。それは大きな特徴の1つかなと思います。逆にいうと高校が休校になってますとそこがガクッと落ちているということかなと思います。もちろんご高齢の方々にもお使いいただいているということもございます。前OD調査をやったときに、そのときにありますよね？最新の状況は分からないんですが、基本的なところは過去調査をしていますので、またそういうのを見てもらうといいかもしれないですね。はい。ありがとうございます。是非、岐阜県内の他のところにもご紹介いただいて、美濃加茂はこのようにコロナ禍でもすごくがんばってますと。言っていただくとありがたいと思います。

(新太田タクシー労働組合高瀬) 今高校生の話が出ましたが、古井可児川線なんですけど、美濃加茂中高生のご利用が多いんですね。それで、今ですね、予備車のキャラバンを一台出している状態なんですけど、その他にフルーツ線の山之上線にも乗車いただいて運行している状態なんですけど、雨降りになるとリエッセも出動させている状態なんですよ。そうするとバスの方の運行管理者がいなくなっちゃって空白になっちゃうんですね。その辺をこの先話し合っていたら、円滑に回るようにしていただければなと思います。

(座長 松本) 雨の日になると、非常に利用者が増えてしまっていて、バスを回すために運行管理の方までもドライバーとして運行してもらおうということですね。事務局としてお考えはございますか。

(事務局) 今現状としまして、予備車対応というのほどまで行政としてサービスできるかというところが一番課題となっております。ただ、乗れないのでごめんなさいというのは、なかなか1時間半に1本しかないところで申し訳ないという部分があるので、対応できる限りはっていう今現状でお願いをしていただいておりますというところで、今後大型化を視野に入れてといっても今のポ

ンチョ以上の大きいバスはなかなか道路上の運行が難しいという部分もございますので、その辺りは今課題として今後どういう方法がいいのかというのをまた事業者様とご相談させていただきながら、進めていく必要があるのかなと。

(座長 松本) 簡単には解決できないですね。雨の日になると急に増えて、そこに容量を合わせてバス車両とドライバーさんを用意できるかと言ったらそんな余裕もないです。

(新太田タクシー労働組合高瀬) 雨の日はタクシーも利用される。

(座長 松本) 自動で追尾してくれるバスができるといいんですけどね。先頭だけドライバーさんが乗っててあと後ろから勝手に箱がついてきてくれるといいんですけどね。あと10年くらいはかかるんでしょうけどね。追車対応って法的にはどこまでやらないといけないのか、どういう感じなんですかね。

(岐阜運輸支局宮川) 基本的には、設備が許す限りやってくださいということですね。バスが出払っちゃって行けません。運転手がいません。という話であればそれはしょうがないですが、いわゆる続行便という扱いで基本的には対応いただいているという状況です。

(座長 松本) 明確にどこまでは対応しないといけないのかということは決まっていない。できる限り頑張ってくださいということですね。

(岐阜運輸支局宮川) そうですね。必ずしも乗らなきゃいけないというところではないと思うんですが、できる限り応えていただいて。

(座長 松本) まして、高校生が学校に行けないっていうのはこれはあまりにもかわいそうですね。かといって大型化するわけにはいかない。道も狭い。簡単には解決できないんですけど、色々話し合いや知恵を出し合いながらご検討いただければと思います。

(市民協働部長) 今ですね、あい愛バスの課題として、3つ大きな課題があります。1つは高校生の朝の便の追尾してもらっていくやつですね。それが大きな問題ですし、2つ目は中部国際医療センターがオープンしたときに、どれだけの方が乗られるかというのが全く読めないんですね。とりあえず、1便はそこへ回そうと思っているんですけども、それが足りるかどうか、そこがものすごく不安材料です。もう1つは今美濃加茂市は立地適正化計画、都市計画マスタープランの中で中心地へ来るという考え方はもちろんあるんですけど、それ以外に各地域地域に拠点を置きまして、そこにスムーズに行けるようなバスっていうのを検討しなきゃいけないなというそういう課題もあります。そうすると何台あったって足りなくなってしまうと、その中でどうやってやりくりしたら一番安く経費が少なくて運行できるのか考えていかなくはいけない。今の問題も含めて、ここ数年の間にしっかりと直さなきゃいけないなと。そんな状況にあります。

(座長 松本) まずは医療センターの状況をみながらだと思いますが、幸い2台が増車されるということですので、車両は多少余裕はできるんですかね。ただ、ドライバーさんがそういうふうにいるのかとといったらいるわけではないので、その辺の問題がこれから要検討ということかと思います。いずれにしましても簡単には解決できませんが、色々知恵を出し合いながら協力しながら、利用者の方々にご不便を強いることが無いように、是非お願いしたいなというふうに思います。高校とも色々話し合ってもらおうといいんですよね。雨の日はこういう状況なんで、何か協力いただけることは無いですか。

(市民協働部長) 宣伝したという経緯がありまして、そうしたらドンと乗るようになった。うれしい悲鳴です。

(座長 松本) 一番簡単なのは毎日乗ってください。そうしたらドライバーさんもう一人雇ってくれるということで、いいと思うんですけど。通う方は通う方で出来るだけ交通費減らしたいのでそうはいかないと思いますけどね。よろしいでしょうか。東鉄バスさん補足とかございますか。

(東鉄 林) いつもお世話になります。東濃鉄道でございます。昨年度この会議です、八百津線の廃止についての依頼をさせていただきましたが、近隣の市、八百津町さんの協力もありまして、引き続き本数は減りましたが、平日のみということで、運行させていただくことになりました。いずれにいたしましても、去年の数字を見ていただくと分かる通り、ほとんど八百津高校さんの生徒さんですので、やはり学校が休校ということで去年の数字はあてにならないということですが、いずれにいたしましてもそのお客様だけということでですね、大変苦しい路線には違いありませんが、今後ともできるだけですね、地域の足として頑張りたいと思っておりますが、この先続くようですと、また色々な考えも出てまいりますので、なんとかコロナの収束を願って進めてまいりたいと思っております。今後とも1つよろしくお願ひしたいと思っております。

(座長 松本) 数見る限り去年は非常に大きく落ち込んでいますが、これが平日だけになったということですね。ちなみに最近ですとGTFsがあつたりすると検索をして思わぬ利用があるというのをよく聞くんですが、それは検索できるんですか。

(東鉄 林) ここはできないですね。今私どもの方でできているのは、恵那市、明知鉄道さんと一緒にやっているということで、徐々にうちの方もですね多治見市を拠点としておりますので、多治見、土岐あたりはできるように整備は今してきているところです。まずもって恵那市さんの方では恵那市さんと共同で。

(座長 松本) 交通事業者さんとやっているというよりは、自治体と協力しながらやっているということですか。岐阜県としてGTFs化はどんな状況ですか。

(岐阜県吉田) 30年度くらいから市町村さんにお声をかけて勉強会を継続して実施しておりまして、導入とか更新を目指して勉強会を実施しております。

(座長 松本) 勉強会しかやっていない？

(岐阜県吉田) そうですね。基本的には市町村さんで作っていただくことになるもので。

(座長 松本) バスの見える化ってものすごく重要視されているので、進めていただくといいと思うんですよね。各自治体さんだけだと限界があります。交通事業者さんだけをお願いするのもなかなか難しいと思われるので、やはり県が主導的になって進めてもらうのがいいなと思います。ご存知だとは思いますが、三重県なんかは県が旗振り役になってGTFs化を進めておりますし、あそこは観光というのが一つの柱というのがあるかと思えます。岐阜にとってもGTFs観光という意味で大きいところだと思いますので、是非お願いしたい。もちろん岐阜支局さんもお協力いただきながら。その結果今までないと思っていた路線にバスがあることが分かって利用につながっていくということもあるかと思えますので、特にこういう時間本数が少ないところっていうのは、見えにくいところですので、見えるようになるというのは大変重要だと思いますので、是非お願いしたいと思えます。東濃鉄道さんもぜひやれる範囲で利用促進をあきらめずに頑張っていただければと思います。

5 閉 会